

# IUHW

The gazette of the International University of Health and Welfare

第13号

発行：学校法人国際医療福祉大学  
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線7115



平成9年度 入学式挙行

去る4月7日に、入学式が本学体育館で行われました。今春より医療福祉学部が開校され総勢821名の記念すべき新入生を迎え入れました。新入生は緊張の面持ちで、高木理事長、大谷学長の式辞、ご来賓の方々の励ましのお言葉をいただき、約600名の保護者が見守る中、放射線・情報科学科の鈴木淳平さんが新入生代表誓いの言葉を述べました。

本学は、既存の保健学部新たに福祉・医療経営管理の学部が加わり、当初の目標であった医療福祉の総合大学として歩み始めました。



入学式と同時に改装オープンした  
カフェテリア

## 目次

	ページ		ページ
新学期を迎えて	2	自然言語による複合メディア・システムのナビゲーション技術の研究開発報告	4
出来事	2	国際保健協力フィールドワークフェロシップに参加して	4
学長の日程から	2	学科・センターだより	4
大学来訪者	2	看護学科	4
大谷学長に肖像画贈呈	2	理学療法学科	4
お知らせ	2	作業療法学科	4
教務課	2	言語聴覚障害学科	5
平成9年度「イブニングタイム特別講義」開催について	2	放射線・情報科学科	5
教務委員会	2	医療経営管理学科	5
広報委員会	3	医療福祉学科	5
国際交流委員会	3	語学教育センター	5
紀要委員会	3	医学教育センター	5
図書館受入図書	3	教員紹介	5
報告	3	サークル紹介	7
「大田原市在宅ケアシステム構築のための支援事業フィニッシュ!!」	3	大学認定の部活動	7
身体障害者ケアガイドライン二次評価を終了して	3	リレーエッセイ	8
		編集後記	8
		IUHWクイズ	8

## 新学期を迎えて

学長 大谷藤郎

那須野が原に遅い春がやってきた。冬が長ければ春のよろこびはそれだけ大きい。今年は初めて7学科が揃い、新学期を迎えられたのは嬉しい限りですね。

どうぞ萌えてた草木に負けないように若さで躍動してください。

3月中旬、南国鹿児島の子防医学集會に出掛けたが、ここではもう谷あいの山桜が満開。しかし、連日の雨に桜島は厚い雨雲にすっぽり。「今日は火山灰が降らなくて有り難いのですが、雨で桜島を見せられぬのは残念」と口惜しげな鮫島鹿児島県医師会長さん。

春雨に 雲の目隠し 桜島

花曇り フェリー行き交う 波の先

近視眼的はいけない。波の向うにある何かを求めていこう。

## 出来事

### ◇学長の日程から

- \*平成9年1月22日(水)  
予防医学事業中央会全国運営会議(浜松市)
- \*平成9年2月20日(木)  
医療政策会議
- \*平成9年3月1日(土)  
仙台歯科医師会社団法人設立20周年記念講演
- \*平成9年3月2日(日)  
滋賀県放送大学講演
- \*平成9年3月10日(月)  
国際保健協力フィールドワークフェロシップ  
国内研修開会挨拶

### ◇大学来訪者

- \*平成9年1月31日(金)  
国立公衆衛生院 31名
- \*平成9年2月27日(木)  
原田学園 原田幸孝理事長他4名
- \*平成9年2月27日(木)  
札幌医科大学 谷内昭学長
- \*平成9年3月3日(月)  
都立医療技術短大 柳澤健教授他6名

### ◇大谷学長に肖像画贈呈

大谷学長は永年にわたりハンセン病患者の救済と開放、「らい予防法」廃止に尽力されてきました。

その功績に感謝して、多磨全生園全患者さん方から大谷学長に対して肖像画が贈られることになり1月28日その授与式が東京多磨全生園自治会で行われました。



森之美代治自治会長、黒田泉子画家、大谷学長

## お知らせ

### ◇教務課

平成9年度「イブニングタイム特別講義」開催について

昨年好評頂いた公開講座「イブニングタイム特別講義」の本年度開催日程が決定いたしました。詳細は下記のとおりですので、学生、教職員の皆さん積極的に出席して下さい。本年度のテーマ：「21世紀医学の最前線—ここまでわかった医学・これからの医学」

### 平成9年度「イブニングタイム特別講義」日程

回数	月日	テーマ	講師
第1回	5月7日(水)	不妊治療の最前線と21世紀の子訓	山王病院 院長 井上正人
第2回	5月21日(水)	癌治療の最前線と21世紀の子訓	国際医療福祉大学 医学教育センター 教授 田川 曜夫
第3回	6月4日(水)	画像診断の最前線と21世紀の子訓	国際医療福祉大学 保健学部放射線・情報科学科 教授 飯部 一浩
第4回	6月11日(水)	心の障害の最前線と21世紀の子訓	国際医療福祉大学 医学教育センター 教授 三浦 四郎尚
第5回	6月18日(水)	スポーツ医学の最前線と21世紀の子訓	国際医療福祉大学 医学教育センター 教授 内西 兼一郎
第6回	7月2日(水)	感染・アレルギーの最前線と21世紀の子訓	国際医療福祉大学 医学教育センター 教授 中野 康平
第7回	7月16日(水)	産科診療の最前線と21世紀の子訓	国際医療福祉大学 医学教育センター 教授 飯島 節
第8回	7月23日(水)	生活習慣病の最前線と21世紀の子訓	国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科 教授 長谷川 豊

### ◇教務委員会

平成8年度教員研修会の開催



2月27日に第一回目の教員研修会を実施しました。テーマを「専門分化と統合」とし、本大学を総合大学として位置づけていくためにはどのようなことが必要



とされるかなどを語ることを目標としました。午前中は、大谷藤郎学長、井上宗迪教授の基調講演を行い、午後は6つのグループに分かれてそれぞれのテーマで話し合いを行いました。分科会の話し合いの結果はグループ毎に発表し合い、全体で共有することができました。参加教員数は63人であり、アンケートの結果は、大筋で、このような研修会の開催に賛同する者が9割近くいました。

#### ◇広報委員会

医療福祉学部の増設に伴い、「IUHW」を6ページから8ページにし、内容の拡充をはかります。なお、本13号から懸賞付きのクイズを掲載します。

「IUHW」の今後の発行予定は以下の通りです：14号（6月10日）、15号（7月16日）、16号（10月20日）、17号（12月1日）、18号（1月20日）。

#### ◇国際交流委員会

(1)国際保健協力フィールドワーク・フェローシップの国内研修(3月10・11日)、海外研修(3月12～20日)に、各学科と当委員会から推薦を受けて次の学生が参加しました。鈴木康文(理学3年)、塚本桂子(看護2年)、監原由紀(理学3年)、中川涼(作業2年)、河合祥千子(言語2年)、天川一利(放・情2年)。全員大いに学んだようです。海外研修については鈴木君の報告(P4)をお読み下さい。事前の2月17日に、学長と昨年度・本年度の参加者の懇談会がありました。(田中委員長、都築副委員長同席)

(2)国際ボランティアについての検討を続行中です。

(3)委員会開催1月8日、2月12日、3月17日

#### ◇紀要委員会

1月21日(火)、2月18日(火)にそれぞれ第10回、第11回の紀要委員会を開催いたしました。そこでは紀要第1巻の送付先を決定すべく、まず各学科および各センターにおいて送付先を選定していただき、それを基に委員会において最終的な送付先リストを決定することになりました。すでに紀要の配布を希望してきた団体もあり、また当大学には他所の大学、短大からの紀要が送られてきております。紀要第2巻の編集については、作業の円滑な推進と論文審査の厳正を期するために、論文査読者に対して査読上の注意事項を明文化し、提示することになりました。



#### 図書館受入図書

3月12日現在、寄贈図書についての受入は下記の通りです。(順序は受入順)

城ヶ端初子様：KOMIチャート(1996)

内西兼一郎様：手の外科学(1995)

雪印乳業生物科学研究所：Nature Vol.319～330(1986～1987)、その他

大谷学長：シンポジウム これからをどう生きるからい予防廃止にこたえて(1996)、その他

中央法規：がん患者の看護(1995)

相野田紀子様他：口蓋裂の言語臨床(1997)

栃木県立図書館：栃木県立図書館平成2～6年度増加図書書名索引(1996)

外務省経済協力局：Japan's official development assistance～Annual report 1996～(1997)

看護学科：大学教育における看護学実習のあり方に関する考察(1995)、その他

お詫び：第12号で「山西薫様」とありましたのは、「小西薫様」の誤りでした。お詫びし、訂正致します。

#### 報告

◇「大田原市在宅ケアシステム構築のための支援事業」フィニッシュ!!

大田原市から本学に委託された在宅ケアシステムの事業が終了しました。この事業は、平成7年度から2年間に渡って行われ、5学科の教員が総出で県や市の方々と共にケア介入と調査を重ねてきたものです。

お手元に届く平成8年度報告書は、指摘を受ける点が多々あるのですが、事業の主旨を考えれば報告書に至るプロセスこそが重大な意味をもちます。この事業を起点として、すでに市のケアシステムはさまざまな動きをみせており、関係者の汗と涙は決して無駄ではなかったと評価できます(と自画自賛)。

(看護学科 福島道子)

◇身体障害者ケアガイドライン二次評価を終了して

前号で報告した身体障害者ケアガイドライン試行事業のうち二次評価(専門職による評価)及び、必要な指導が終了しました。3月13日に、市の福祉課によるまとめの会議を本学で実施され、「ガイドライン」についての意見交換を行いました。本学教職員により、専門職の視点から今後の「ガイドライン」の修正に向けて参考になる意見が多く出されました。なお、県保健福祉部も同席し、県の障害者相談・援助マニュアル(案)、在宅サービスニーズ保持層の類型化に基づくサービスニーズ把握とメニュー検討(試案)についても意見交換を行いました。

(杉原素子)

## ◇自然言語による複合メディア・システムの

## ナビゲーション技術の研究開発報告

国際医療福祉大学大谷学長名で情報処理振興協会が公募した『創造的ソフトウェア育成事業』に『自然言語による複合メディア・システムのナビゲーション技術の研究開発』というテーマで応募し、平成8年3月25日付けで採択されました。『創造的ソフトウェア育成事業』は、国からの出資を受けて情報処理振興協会が我が国のマルチメディア技術、デジタル技術などの開発・普及を促進するために独創的かつ先進的なソフトウェアの開発を支援する事業です。研究期間は2年間で、IBM株式会社の協力を得て進捗しております。研究の内容は、自然言語（我々の話し言葉）を使ったコンピュータによる教育支援システムの開発であり、学生が動画像を参照することによりコンピュータと通常の話し言葉で会話し教科を学習するシステムを開発することです。開発プロジェクトは、情報教育センター（榊澤、細井、菊地）、看護学科（荒井、金井、塚本）、情報システム室（佐藤）から構成されております。完成目標は平成10年3月31日を予定しており、開発したシステム（最初は看護教材）はSL教室のパソコンにインストールされますので、看護アセスメントCA1として利用することができます。

（榊澤一之）

## ◇国際保健協力フィールドワークフェロシップに参加して



3月10日から20日までの11日間（国内研修2日間、フィリピンでの海外研修9日間）の日程で国際保健協力フィールドワークフェロシップに参加してきました。海外研修では、実際に行われているプロジェクトの視察、施設訪問（WHO西太平洋地域事務局やJICAマニラ事務所など）に行ってきました。また、1カ所だけでしたがリハビリテーション施設も見学することが出来ました。研修で得てきたことを友人や後輩に伝え、国際保健医療について考えるきっかけになればと思っています。

（理学療法学科3年 鈴木康文）

## 学科・センターだより

## ◇看護学科

## 21世紀の看護教育への第一歩

「創造的ソフトウェア開発プロジェクト」にて、現在開発中のコンピュータープログラムの英語版作成の為、インディアナ大学看護学部助教授ターリー博士をお招きしました。会議の合間をぬって、米国における情報機器を活用した画期的教育方法についての講演会も行われました。インターネットにてインディアナ大学の図書館と結んで文献検索のデモンストレーションも行われ、情報をどのようにして入手するか又、21世紀はインターアクティブビデオ等の活用により、教育のあり方そのものに教員の発想の転換が迫られています。

（金井-Pak雅子）

## ◇理学療法学科

A「新入生が入ったなー。」

B「今年は何をやりますかね。理学はどこまでがマジでどこまでが冗談か、全部冗談か、全部マジか解りませんからね。」

A「歓迎会というより歓喜古といったほうがいいぞ。」

B「まあ年間通して農業実習、雪上実習、酒唄実習など色々ありますね。」

A「ポリシーはあくまで文化の理学だからな。」

B「新1年生の皆さん、引けを取らずに、どどんん文化の理学目指しましょう。」

（窪川 徹）

## ◇作業療法学科

本学科では、2月17日（月）～3月7日（金）の3週間、「評価実習」（2年次）が行われました。身体障害・発達障害領域では、対象者の方に本学に入学していただき、又、精神障害領域では那須高原病院にて、それぞれ各分野の実習を行いました。

とにかく学生にとっては、障害を持つ方の体に触れるのも、深く話をしていただくのも、ほとんど初体験のことであり、緊張は隠せない様子でしたが、皆、真剣な面持ちで課題に取り組んでいました。「基礎医学の重要性がやっと解った」「子供ってかわいい」「疲れ切ったけど楽しかった」等々、来年度への新たな意欲を感じさせる感想も多く聞かれ、学生にとって良い経験になったようです。

それにしても2年生みんなの集中力は凄かった。なんともうらやましい限りでした。

（下田信明）



## ◇言語聴覚障害学科

## 言語聴覚センターがオープン

3月3日の「耳の日」、言語聴覚センター（国際医療福祉大学クリニック2階）が開所しました。開所から3週間で県内各地および仙台や岩手県から100件以上の予約申し込みがありました。ことばの遅れ・聴覚障害・失語症・発音の問題などについて、0歳から75歳までの幅広い年齢層の方のご相談があり、地域の方々の期待の大きさを実感しています。

当センターは今後、言語聴覚障害学科の学生の臨床実習の場としても利用されます。

（飯塚直美）

## ◇放射線・情報科学科

4月7日（月）の入学式で放射線・情報科学科は128名の新入生を迎えました。男子学生は87名（68%）、女子学生は41名（32%）です。教員および先輩の学生ともども新入生の皆さんの入学を心から祝福いたします。皆さんの入学により放射線・情報科学科も一段と賑やかさを増しました。2年生は一年の経過の早さを実感しているのではないのでしょうか。そして、3年生は後期から臨床実習に入りますので、前期の内に実力をつけておかなければと心を新たにしていることと思います。鉄は熱いうちに鍛えよです。若いうちに思いきり物事に取り組み、素晴らしい青春を築いて下さい。

（野原功全）

## ◇医療経営管理学科

## わが国で初めての医療経営管理学科誕生

1997年4月1日、わが国で初めての学科が、国際医療福祉大学に誕生しました。

わが国の病院はじめ医療機関が、本当に利用者である国民に満足されているのか。改善すべき点は多々ありますが、1つには医療機関の経営・管理のプロフェッショナルが少ないことがあげられます。先輩の5学科の方々の努力をより効率的・効果的にするお手伝い役を育成することが狙いです。どうぞよろしく。

（紀伊國献三）

## ◇医療福祉学科

## 医療福祉学科の紹介

医療福祉学科は、高齢者や障害者、児童福祉など各分野のソーシャルワーカー、福祉管理者の養成を目標として今年度から開学します。従来の社会福祉学にプラスして保健・医療の基礎知識も学んでもらうこと、全員が社会福祉士（国家資格）受験をめざすことなどを特色とする新しいタイプの社会福祉学科です。

社会福祉の最先端をゆく研究者と福祉施設や地域福祉の現場経験豊富な教員がそろいました。新入生の皆さんとの学科づくり、ボランティア活動の推進や地域との協働に夢と期待をかけています。

（鈴木五郎）

## ◇語学教育センター

## Welcome From the Language Center

Congratulations to our new Freshmen! We in the English Language Program would like to welcome you. Our Sophomores and Juniors can tell you about the multi-cultural experience you'll have with us in the English Language Center. For instance, most of our Japanese English teachers have traveled and/or have lived abroad, and our Native English teachers come from such places as England, Canada, the Philippines, Australia, and the United States. We feel good about having a truly international English program in a truly international university. Work hard and have fun, too.

（Kevin Dobbs）

## ◇医学教育センター

## 医学教育センターの一年

医学教育センターが発足してはや一年になります。月1回のセンター会議と議案調整のための小委員会を開き意見の集約につとめてきました。私としては医学教育センター所属の教員の役割はあくまで各学科のカリキュラムがスムーズに進行するための助っ人と考えていますのでその目的に沿った運営を心掛けてきた積りです。お陰さまでいくつかの未処理の問題は残りましたが、カリキュラム進行上の障害は殆んど調整がついたと思います。事務局と各学科の先生に感謝致します。

（間藤方雄）

## 教員紹介

（毎号、各学科・センターから1名ずつご紹介頂きます。）

①所属・職位、②生年、③出身校、④専門分野、⑤直前の勤め先、⑥主要著書・論文、⑦本校における担当科目、⑧趣味。

## 藤原聡子（ふじはら さとこ）



①看護学科・助手、②30代後半（若く見えたら望外の喜びですが残念ながら写真の通りです。）9月24日生、③名古屋市立大学看護学校・三重大学大学院人文社会科学部研究科、④母性看護、⑤中津川市民病院、⑥浮生六記について

（1996年度三重大学修士論文）、⑦実習・演習の補助、⑧年を取ってから勉強したので余りうまくないのですが、中国語はいつも私を元気にしてくれます。でもずっと貧乏だったので、1かご4元の包子が私の中国の味覚の中心に居座っています。馴染みのリュックと一緒に中国美味紀行をしたいのですが何時のことでしょうか。

窪川 徹 (くぼかわ とおる)



①理学療法学科・助手、②19〇〇年、  
③杏林大、放送大、埼玉医科大短期大  
学、④理学療法、上手な進級の仕方  
について (そんなモノない)、⑤済生  
会病院、⑥自家製及び市販のホットパ  
ックにおける性能の比較について、⑦運  
動学実習、生理学実習、⑧バンバンボ  
ール、ダンカン  
ヨーヨー、けん玉

田中佳代 (たなか かよ)



①言語聴覚障害学科・助手、②1970年、  
③日本女子大学文学部社会福祉学科  
国立身体障害者リハビリテーションセ  
ンター学院、④成人の言語障害、コミュ  
ニケーション障害、⑤松戸市立福祉医  
療センター東松戸病院、⑦言語障害診  
断学演習、聴覚障害診断学演習、⑧旅行

飯沼一浩 (いひぬま かずひろ)



①放射線・情報科学科・教授、②1938  
年12月1日、③東北大学工学部、④画  
像診断機器とくに超音波診断装置、⑤  
㈱東芝・医用機器事業部、⑥高分解能  
リニア電子走査型超音波診断装置、⑦  
医用超音波論、画像工学、医用放射線  
機器工学Ⅱ、医用放射線機器工学実験、放射線計測学  
実験、自動制御工学実験、⑧ゴルフ、合唱、正義の味  
方が悪者を懲らしめるテレビ映画を見ること、本は池  
波正太郎の時代もの。

高橋淑郎 (たかはし としろう)



①医療経営管理学科教授、②昭和29年  
8月、③日本大学大学院商学研究科経  
営学専攻博士課程、④病院経営論、非  
営利組織のマネジメント、サービス経  
営論、医療の質と病院経営など、⑤ト  
ロント大学医学部ヘルスアドミニス  
トレーション、⑥「変革期の病院経営」中央経済社、1997  
年、⑦医療管理学Ⅰ、Ⅱ、経営学、経営戦略と経営計  
画、医療施設経営論、医療経営分析論、医療評価論Ⅱ  
など、⑧最近忙しくてあまりやれない趣味：スキー、  
ゴルフ。最近の趣味：那須の空気を吸いながら、星と  
雲をみること。

鈴木五郎 (すずき ごろう)



①医療福祉学科長・教授、②1939年、  
③日本社会事業学大学研究科卒業、④  
地域福祉論、コミュニティーワーク、  
⑤全国社会福祉協議会理事・事務局長  
/全国老人クラブ連合会常任理事・事  
務局長、⑥「地域福祉論」(編著)全  
国社会福祉協議会、⑦社会福祉学、地域福祉論、社会  
福祉援助技術総論、社会福祉援助技術各論Ⅱ、⑧山歩  
き、カメラ、読書、ドライブ

田中美子 (たなか よしこ)



①語学教育センター・教授、③東京女  
子大学、コロンビア大学大学院ティ  
ャーズカレッジ、④英語教育、アメ  
リカ研究(歴史)、⑤自治医科大学、  
⑥アメリカ入門12講(共著)(三省堂)、  
⑦英語・Reading, Integrated English、

⑧音楽鑑賞

◇新任の教員紹介 (平成9年4月1日付)

所属	職名	氏名	所属	職名	氏名	
医療経営管理学科	医療福祉学部長	紀伊國敏三	医療福祉学部	講師	山崎 順子	
	医療経営管理学科長		医療福祉学部	講師	田澤 薫	
医療福祉学科	医療福祉学部	鈴木 五郎	語学教育センター	講師	柴田知薫子	
	医療福祉学科長		医療経営管理学科	医療福祉学部	助手	井出健二郎
医療経営管理学科	医療福祉学部	高橋 泰	医療福祉学部	助手	本多 勇	
医療経営管理学科	医療福祉学部	高橋 淑郎	作業療法学科	保健学部	教授	矢谷 令子
医療経営管理学科	医療福祉学部	橋本 正弘	医学教育センター	保健学部	教授	小田 晋
医療経営管理学科	医療福祉学部	矢野 聡	医学教育センター	保健学部	教授	小林 春彦
医療福祉学科	医療福祉学部	中野いく子	医学教育センター	保健学部	教授	藤波 翼二
医療福祉学科	医療福祉学部	長谷川 豊	看護学科	保健学部	講師	池松 裕子
医療福祉学科	医療福祉学部	林 玉子	看護学科	保健学部	講師	川口 恭子
医療福祉学科	医療福祉学部	東口 重信	看護学科	保健学部	講師	工藤ちい子
医療福祉学科	医療福祉学部	平林 誠	理学療法学科	保健学部	講師	瀧見 泰蔵
医療福祉学科	医療福祉学部	六波羅詩朗	語学教育センター	保健学部	講師	千葉 礼子
医療経営管理学科	医療福祉学部	加藤 雄二	理学療法学科	保健学部	助手	石井 恵美



所属	職名	氏名	所属	職名	氏名
理学療法学科	保健学部 助手	江口 勝彦	臨床医学センター	臨床医学センター 教授	福島 和昭
作業療法学科	保健学部 助手	濱口 豊太	臨床医学センター	臨床医学センター 教授	山崎 統四郎
言語聴覚障害学科	保健学部 助手	加藤 育	臨床医学センター	臨床医学センター 助教授	伊藤 雅彦
言語聴覚障害学科	保健学部 助手	福永 真哉	臨床医学センター	臨床医学センター 助教授	大橋 一之
放射線・情報科学科	保健学部 助手	石井 伸英	臨床医学センター	臨床医学センター 助教授	手塚 勇人
放射線・情報科学科	教授	秋貞 雅祥	臨床医学センター	臨床医学センター 講師	浅木 信安
放射線・情報科学科	教授	飯沼 一浩	医学教育センター	特任教授	工藤 吉郎
看護学科	臨床講師	橋本 久子			
看護学科	技術助手	刈生田 春美			
臨床医学センター	臨床医学センター 教授	佐々木 龍平			
臨床医学センター	臨床医学センター 教授	井上 謙三			

◇新役職者の紹介 (平成9年4月1日付)

職名	氏名
図書館長	荒井 繁子
学生部長	丸山 仁司
健康管理センター長	齋藤 和雄
健康管理センター副センター長	佐々木 龍平
言語聴覚センター長	飯沼 澄子



サークル紹介

◇ジャズダンス部

昨年度は、NHK健康フェア(8/4)、風花祭(10/26.27)大田原市産業文化祭(11/3)など発表の機会に恵まれ有意義な1年でした。

風花祭に向けて行った合宿(黒羽町、みつばち村、於)はハード(?)でしたが、夏の良き思い出となりました。

私達はただ体を動かすだけでなく、物をつくり、それを見せるという過程を楽しんでいます。これからも若さと笑顔を武器に多くのことにトライしてゆこうと思います。

・現在部員数22名(男女問いません)

(理学3年 藤井雅子)

◇All Round Outdoor Circle "ALBINO"

決して止まることなく移り変わる四季の中で時を過ごす楽しみ-アウトドア。All Round Outdoor Circle "ALBINO"は、アウトドアを誰にでも楽しく気軽に、そして本格的な体験方法を提案し続けるDivision。

"ALBINO"では、週一回のミーティング、月一回のイベント兼バスディパーティイベントを開催。バーベQ、バスタパーティー、キャンプ、紅葉狩り等のイベントを開催しました。今、ALBINO新規スタッフ募集中。

(放・情3年 山本貴正)

大学認定の部活動

※この表以外に複数の未公認サークルがあります。

No	団体名	主な活動	主な活動場所	No	団体名	主な活動	主な活動場所	No	団体名	主な活動	主な活動場所
1	バドミントン部	バドミントン	体育館	11	少林寺拳法部	少林寺拳法	体育館	21	サッカー部	サッカー	グラウンド
2	テニスサークル G-KID's	テニス	テニスコート	12	劇楽(はなつくる)	劇楽	教室	22	山岳スキー部	登山、スキー	学外
3	バスケットボール部	バスケットボール	体育館 企業体育館	13	弓道部	弓道	大田原市弓道場	23	チタニカルエイド研究部	調査、野外活動、福祉機器の研究	作業療法学科、田
4	熱気球部	熱気球	学外	14	園芸サークル	園芸	学内花壇等	24	美術部	絵画・工芸	教室
5	空手道部	空手	体育館等	15	ジャズダンス部	ジャズダンス	体育館ステージ	25	心理学研究部	心理学全般/実験観察	学内(教室)
6	バレーボール部	バレーボール	大学体育館 市体育館	16	軽音楽部	バンド演奏等	教室	26	社会福祉研究部(英福祉)	ボランティア活動	施設
7	手話研究部 Mobius	手話サークル	教室(D306)	17	合唱部	合唱	教室	27	ラグビー部	ラグビー	グラウンド
8	吹奏学部	ブラスバンド	体育館等	18	陣上競技部	陣上競技	大学グラウンド等	28	E. S. S.	英会話	
9	オーケストラ	交響楽	E101等	19	野球部(軟式)	軟式野球	グラウンド等				
10	写真部	写真撮影・機材等	C棟1F、屋外	20	テタロス部	テタロス	グラウンド				

リレーエッセイ

心理学研究部の顧問もどきから一言

総合教育センター 江草浩幸

私は心理学研究部という学生サークルの顧問もどきになっていますが、このサークルの最大の悩みは部員数の少なさです。学生の自主的活動に教員が口を出すべきではないのですが、一言宣伝させてください。

心理学は、多数の人の行動の仕方を観察した結果から、人の心の働き方の一般的な規則性を推測する学問です。実は、日常生活上の必要から、私たちは皆、素朴な心理学者なのです。専門家との主な違いは観察や推論の方法が組織的でないという点です。逆に言うと、方法が適切であれば、素人でも新しい心理学的知識を生み出せることになります。

心理学研究部では、昨年、「重要な場面であがらないためにはどうすればよいか」という問題についてアンケートを行いました。素人が学問的方法を使いこなすのはやはり大変でして、質問項目を決めるだけで数カ月かかっていました。しかし、テーマを自分たちで見つけ、曲がりなりに組織的な研究を行うことには、書物や講義から学ぶのとは違った意義があると思われまいます。学生の皆さん、心理学研究部で「研究」を体験し、「素朴な心理学」を深めてみませんか。

次回執筆者：谷 浩明（理学療法学科）

編集後記

〈出会い〉の季節がやってきました。新入生の皆さんが、新たな環境の下で、教師、先輩、友人との、人生を決定するような最高の〈出会い〉があることを期待しています。

さて「IUHW」も創刊3年目を迎え、新しい企画として「IUHWクイズ」を始めました。学生の皆さんのたくさんのご応募お待ちしております。

今年度も年6回の発行を予定していますが、読者の皆様が楽しみにして下さるような充実した紙面づくりを目指していきたいと思っています。

（富澤美穂子）



IUHWクイズ 一賞品は全国共通遊園地券（ペア）!!

英語とスポーツ大好きなあなたにピッタリのクイズ。ラケットの中にあるスポーツ関連語をできるだけたくさんみつけましょう。縦横斜め、直線で色々な方向で読みとり、アルファベット順に書いてください。応募資格はIUHW学生、1人1枚。応募メ切は5月10日（土）。正解者多数の場合は抽選、発表は次号。解答は事務局学生窓口外側のIUHWのメールボックスへ。

	E	C	G	D								
	V	O	M	O	N	U						
	O	A	A	U	A	T	I	G				
	L	C	S	B	X	L	E	A	L	O		
	H	R	L	X	X	K	N	T	B	I	U	
	X	E	E	E	R	E	F	E	R	Y	A	T
	S	T	R	I	K	E	X	U	B	R	E	S
	K	K	C	U	P	N	G	R	N	E		
		I	T	E	E	U	O	T	T			
		X	X	R	W							

キリトル

学科 _____	学年 _____
名前 _____	
1 _____	11 _____
2 _____	12 _____
3 _____	13 _____
4 _____	14 _____
5 _____	15 _____
6 _____	16 _____
7 _____	17 _____
8 _____	18 _____
9 _____	19 _____
10 _____	20 _____

キリトル